

## 音楽を愛好し仲間とともに成長する児童の育成

福井県鯖江市神明小学校

教諭 根谷 理砂

### 1 はじめに

本校は鯖江市中心部にあり、福武線沿線の神明駅や水落駅周辺に校区が広がる全校児童632名の市内で一番の大規模校である。小学校の部活動は原則行われてないが、市内で3小学校が吹奏楽部での活動を行っている。本校吹奏楽部は、今年度3年生11名、4年生14名、5年生14名、6年生6名の計45名で活動している。

楽器体験会の様子

### 2 活動について

#### (1) 楽器体験会

4月始めに「楽器体験会」と称して、楽器に親しむ活動をしている。昼休みに誰でも体験できるとたくさんの児童が参加する。そこで興味をもった児童は、部活動見学を経て入部する。体験会は原則児童がすすめ、児童同士の関わり合いの中から楽器演奏に興味をもち音楽を楽しむ雰囲気ができている。さらに興味のある児童は「部活動体験」で入部を自己決定する。こうして毎年十数名が仲間に加わっている。



#### (2) 入学式・卒業式

毎年、入学式には新入生退場、卒業式には卒業生退場の場面で演奏している。6年生がいないので部員が少ないこともあり、その年のレパートリーの中から無理なくできて場にふさわしい曲を選曲し式典が盛り上がるように練習し本番に備えている。

#### (3) 市内3小合同練習会

1学期には、丹南地区吹奏楽連盟や市が主催する行事に3小学校合同バンドとして出演している。本番前には2回ほど練習会を開いている。他校との仲間づくりができたり、よりよい音楽表現をみんなと考えたりしながら演奏できるよい機会である。新人児童にはダンスや打楽器演奏で参加してもらい、たくさんの仲間と演奏する喜びが味わえる活動である。

3小合同練習会



#### (4) 丹南地区吹奏楽祭

4月末には丹南地区吹奏楽祭に出演している。本年度も3小合同バンドとしてステージに立ち、元気いっぱいの演奏をすることができた。他にも中学生や高校生の合同バンド、また一般の楽団の演奏を聴くことができる。よりレベルの高い迫力ある生のサウンドを聴けるので、これからの活動にいい刺激を受けることができている。

丹南地区吹奏楽祭



#### (5) 吹奏楽ライブ in SABAE

眼鏡枠生産日本一である鯖江市の「めがねフェス」と同時開催で“吹奏楽のまち鯖江”をPRしているイベントである。このステージでは鯖江市出身の先輩がプロのアーティストとして賛助出演し、コラボ演奏を行う。プロの演奏者と演奏できる体験はとても貴重で、練習会ではいろいろなアドバイスをいただき演奏技術も向上している。



#### (6) 地区体育大会アトラクション演奏

神明地区の体育大会では、昼のアトラクションで演奏している。校庭の中心で演奏するという過酷な状況ではあるが、地域の方々に活動を知っていただけるよい機会と捉え親しまれる曲を中心に演奏し毎年あたたかい拍手をいただいている。



#### (7) 敬老会

これは公民館行事で毎年地域の保育所や幼稚園の発表と一緒に演奏している。9月にあるので、夏休みを中心に大きな曲にチャレンジしこのステージで披露している。今年は、「リバーダンス」を演奏した。また、新人さんも童謡をソロで演奏するという初ステージの日でもある。それぞれの児童が目標をもって成長できるステージの一つである。

#### (8) 学校公開「にこにこふれあい学級」

全校児童や保護者が集う日に校内発表をしている。約20分のステージで3曲を披露した。敬老会で演奏した「リバーダンス」もさらに磨きがかかり自分たちの表現をすることができた。部員にとっては校内での演奏披露は先生や友人などに聴いてもらえることとあって新鮮な緊張感で臨むことのできるステージだった。

#### (9) アンサンブルコンテストへの参加

地区大会、県大会、北陸大会へと先述の各行事とは違い、自分たちの演奏を試す場として児童たちはより真剣に臨んでいる。この時期には、専門の講師を迎えてレッスンも受けている。演奏が上達していくことや仲間との絆を深めていけることに喜びを感じながら成長している姿が見られる。

### 3 終わりに

本校では、このようにさまざまな行事があるので年間を通して平日の火～金の夕方、本番が近づく土曜日にも練習を行っている。限られた時間で効率よく練習を進めていくために部長をはじめパートリーダーとなる上級生が自主的に活動を進められるように配慮している。必要に応じてリーダー会議を行いそれぞれのパートで抱えている課題を共有し励まし合いながら活動を続けている。高学年になるとどの子にも自信がついてきて個々の持ち味が演奏で発揮されてくる。これからも上級生から下級生に音楽活動を通して「よい音色やよい行い」が伝わってくれることを願っている。

## 平成30年度 東海北陸小学校管楽器教育研究会 役員名簿

会 長	愛知県	亀島 真治	高浜市立翼小学校
副 会 長	愛知県	青木 香織	名古屋市立東丘小学校
	三重県	澁谷 憲一	松阪市立花岡小学校
	富山県	川添 等	富山市立水橋東部小学校
	石川県	渡邊加寿子	金沢市立不動寺小学校
	福井県	千嶋 京子	福井市立松本小学校
理 事	愛知県	村瀬 慶美	名古屋市立松原小学校
	三重県	山中 幾代	鈴鹿市立神戸小学校
	富山県	土井 和哉	富山市立萩浦小学校
	石川県	荒木 泰彦	金沢市立伏見台小学校
	福井県	青木 知代	大野市立乾側小学校
	三重県	黒田 耕輔	鈴鹿市立愛宕小学校
事務局長	愛知県	森下 久子	東浦町立卯ノ里小学校
会 計	愛知県	渡邊 琴巳	大府市立神田小学校
監 事	愛知県	秋山 優子	名古屋市立大高小学校
	三重県	小島 誠伺	松阪市子ども発達総合支援センター
	富山県	頼成 知秀	富山市立鶯坂小学校

あとがき

各地区の実践から、「仲間と管楽器を演奏する喜び」や「努力し続けることの大切さ」が伝わって参りました。美しいサウンドを追求する中で、子どもたちの仲間を思いやる気持ちや地域に愛着と誇りをもつ気持ちが育っているように感じます。さらに、管楽器活動を通して、音楽の輪が広がっていくことを願っております。

最後にご執筆いただきました先生方をはじめ、関係の先生方には心からお礼を申し上げます。また、ご一読いただきました会員の皆様からは、温かいご指導・ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月

東海北陸小学校管楽器教育研究会事務局長 森下 久子